

3 地域別の動向

(1) 北海道



北海道地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回からの主要変更点

	前回(令和元年5月)	今回(令和元年8月)	
景況判断	緩やかに回復	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	
鉱工業生産	持ち直し	おおむね横ばい	

1. 鉱工業生産等の動向

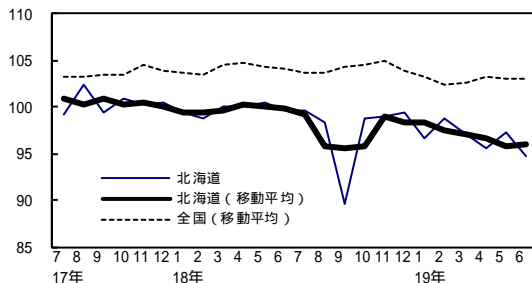
(1) 第一次産業は生乳生産、主な水産物の生産額ともに前年を上回っている。

4 - 6月期には、生乳生産は総量では1,031,696tと前年比1.4%増となった。主な水産物¹の生産額(主要9港)は、すけとうだら等が増加したため、前年比7.4%増となった。

(2) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

4 - 6月期には、食料品は、増加した。パルプ・紙は、工場の定期修理等の影響により、雑種紙の生産が減少した。電気機械は、増加した。鉄鋼は、高炉改修に向けた在庫積み増しにより、鋼半製品の生産が増加した。化学・石油石炭製品は、ナフサや軽油の生産が減少した。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
食料品	25.9	1.9	0.1	0.7	0.4	0.0
パルプ・紙	13.1	0.8	3.3	3.1	0.6	1.7
電気機械	9.1	25.6	5.9	6.2	3.1	3.6
鉄鋼	7.9	0.7	4.9	4.8	2.8	5.0
化学・石油石炭製品	7.6	0.1	2.6	12.3	11.3	16.2
鉱工業	100	1.5	1.7	1.4	1.7	2.6

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北海道の最新月は速報値。

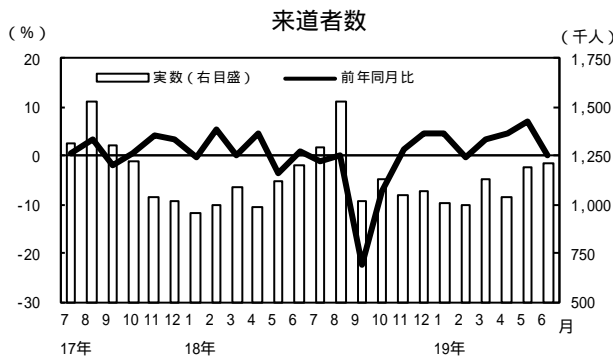
2. 全国及び北海道の大線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

¹主な水産物は、するめいか、さんま、すけとうだら、たこ類、ほっけを対象魚種とする。

(1) 北海道

(3) 観光は増加している。

来道者数は、航空機や船の利用者増などがあり、増加した。



(備考) 北海道観光振興機構調べ。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

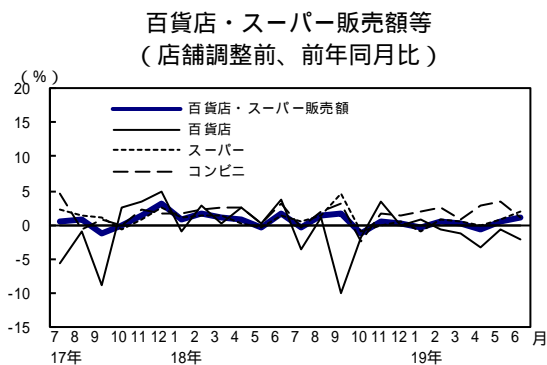
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.9%増、5月は同0.4%減、6月は同0.2%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他すべての品目で前年を下回った。5月は、その他は前年を上回ったものの、衣料品、身の回り品、飲食料品は前年を下回った。6月は、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他すべての品目で前年を下回った。

スーパーは、4 - 6月期は、飲食料品が好調だったこと等から前年を上回った。

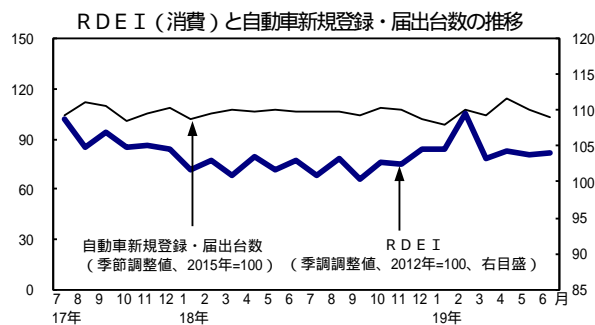


	2019年4-6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.6	0.9	0.4	0.2
百貨店・スーパー(*2)	0.4	0.7	0.6	1.1
百貨店(*2)	2.0	3.2	0.7	2.2
スーパー(*2)	1.0	0.1	0.9	2.0
コンビニ(*2)	2.5	2.8	3.5	1.1
乗用車(*3)	1.4	9.0	1.1	4.5
(季節調整値)(*3)	4.7	9.3	5.3	4.4

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。

